

祖小っ子の記録(12/1~4)

12/1(月)



4年生が道徳「いつも心に『ファイト』」を題材に、自分を支えてくれている人たちに感じた感謝の気持ちについて考えていました。日頃から世話をしてくれている家族や、生活を支えてくれている人たちへの感謝の気持ちを表せるってすてきですね。

3年生が図工で、妖精のすみか作りをしていました。グループの友達と相談しながら、木の枝や葉、石などを使ってすてきなすみかを完成させていました。

12/2(火)

持久走記録会が開かれました。この記録会に向けて、子どもたちは、自分の記録を少しでも伸ばすために、毎日練習してきました。地道な努力が成果として現れた体験が、今後の生活の中で生かされると信じています。また、私たち教職員も、子どもたちの成長の姿に教員をやっていてよかったと心が熱くなる機会をもらいました。

また、小春日和の穏やかな日で、多くの保護者の方や地域の方が、見守りボランティアや応援に来てくださいました。多くの子どもたちが、1週間前の試走より、記録が伸びたようです。応援の力ってすばらしいです。ありがとうございます。そして、保護者の方がご自分のお子さんだけでなく、他の子も我が子のように応援していただいている姿、地域の方が子どもたちを温かい眼差しで見守る姿に、祖父江小学校区の地域の皆さんの子どもたちへの温かい思いを実感しました。祖小っ子たちは幸せです。学校としても地域の皆さんとの連携を大切に子どもたちを育てていきたいと改めて思いました。



12/3(水)



高学年の国語では、伝記を読んで自分の生き方について考える学習をします。5年生の教室をのぞくと、「やなせたかし」の伝記を読んでいた。アンパンマンだけでなく、朝ドラ「あんぱん」の放送もあり、身近な人が題材

であるため、興味をもって先生の範読を聞いていました。「自分もこうなりたい」「こうやって苦難を乗り越えたんだ」など、これからの自分の生き方に生かそうと思うことが少しでもあればすてきですね。



3年生が、体育でタグラグビーをしていました。ボールの渡し方はラグビーと同じで、ボールを持っている子は、前に持って走るか、後ろに投げるかです。ボールを持っている子の腰につけたタグをとるとタックルされたことになります。みんなでルールの確認をしながら、ゲームを楽しんでしました。



なかよし学級での草取りデーでした。冷たい風が吹く中、みんなで落ち葉を拾ったり、草を抜いたりしました。

12/4(木)



今日から12月10日まで、人権週間です。

たんぼぼ集会でも、児童会からスマイルラジオの取組を通して、友達のよいところを見つけようという話、生徒指導担当からは、みんながドラえものののび太だったら、どんなふうになるだろう話を通して、みんなが同じじゃないから楽しいんだという話、私(校長)からは、ヨシタケシンスケ「みえるとかみえないとか」という絵本を使って、他の人との違いに気づきそれを楽しもうという話をしました。この機会に、ぜひご家庭でも人権についてお話しになるのはいかがでしょうか。